

野のはな

金城学院大学家政学部
(生活環境学部)
同窓会会報第3号
発行: 2004年9月1日
〒461-0011 名古屋市東区白壁4-64
みどり野会館内

「新学長の ごあいさつ」



学 長 柏木 哲夫

2004年4月1日付けで金城学院大学の学長に就任いたしました柏木哲夫でございます。就任後2ヶ月半、まだ地に足が着いていない感じですが、少しづつ、まわりが見えて参りました。

大学は新4学部体制が次第に整いつつあります。大学の改組転換には様々な課題が伴います。特に、学部の名前が消えるということは、その学部の設立に深く関わった人々、その学部で学んだ人々にとって、寂しさと残念さが入り交じった複雑な気持ちを惹起させることと思います。時代の流れという一言では決して納得できない、腑に落ちない感情をお持ちのことと推察いたします。私はこのプロセスに直接関わってはおりませんが、新しく生まれた生活環境学部が家政学部が築いた立派な伝統を守り、その上に新しい知見を積み上げていくことが、家政学部同窓会の皆様に喜んでいただけることのように思います。

大学は2005年4月の薬学部のスタートに向けて、今、全学が協力して頑張っています。少子化や国立大学の独立行政法人化など、私立大学の運営はとてもきびしい状況下にありますが、キリスト教主義に基づいた女子高等教育を目指して、この伝統ある金城学院大学を、在校生、教職員、同窓生の方々に「金城学院大学に連なっていて良かった」と言っていただけるような大学にしたいと願っています。今後とも、家政学部同窓会の皆様のお支えを心よりお願いして、学長就任の挨拶とさせていただきます。

● 略歴 ●

1965年大阪大学医学部卒業、同大学精神神経科に3年間勤務した後、ワシントン大学に留学。帰国後、淀川キリスト教病院でターミナルケアに従事。'84年日本で2番目のホスピスを同病院で開設。現在は名誉ホスピス長。'93年大阪大学人間科学部教授に就任。同大学を定年退官後の2003年本学人間科学部教授に就任。2004年4月より現職。大阪大学名誉教授。

「生活環境学部の さらなる発展を めざして」



学 部 長 藤城 榮一

皆さん、こんにちは。3年目を迎えた生活環境学部の近況をご報告します。

生活環境学部は、家政学部の財産であった「総合家政」という伝統を踏まえながら、昨今の「実学教育」といった社会的な要請や、高校生の「資格取得」指向に応えるべく、教育内容を刷新し、新たに出発した学部です。

この一見矛盾するこの課題に応えるために先生方はいろいろ知恵を絞ってまいりました。食環境栄養学科は管理栄養士の育成に、環境デザイン学科は、衣料管理士、建築士の資格取得に、生活環境情報学科は、生活経営学に情報の領域を取り入れ、より実践的な教育へと変身を遂げてきました。昨年度から、環境デザイン学科において一級建築士の受験資格を取得できるようになったのもこうした努力の結果です。また、学生にどれだけの付加価値を付けて社会に送り出せるかが、大学の評価を決定づけるだけに、「学生による授業評価」をもとに先生方一人一人が教育内容・方法の改善にも取り組んできました。

3年目を迎えた今、こうした努力の真価が、問われているわけですが、こうした転換期だからこそ、守らなければならないものと改めるべきものとを見定める目を持つていることが大切だと思っております。皆さんの変わらぬご支援、叱咤激励をお願いいたします。

その他、この1年間の変化として、車椅子受講の学生のために、E2号館にエレベーターと階段昇降機をとりつけるなど校舎のバリアフリー化に務めました。キャンパス環境も大きく変わりつつあります。

この1年間の変化として皆さんにお伝えしなければならないことは、40年以上にわたり家政学科の発展にご尽力された水島裕先生が2004年3月末をもって定年退職されたことです。水島先生ご苦労さまでした。

最後に、「野のはな」の一層のご発展と会員の皆様のご健康・ご発展を祈ります。



家政学部同窓会

(家政学科・生活経営学科)

第3回 総会開催

2003年10月25日(土)金城学院大学 午後1時~

懐かしい金城台キャンパス内、E1号館229中講義室（旧家政学部校舎1号館2F）に於いて開催されました。新役員承認、事業計画案、予算案など和やかに審議を進める事が出来ました。藤城榮一学部長のご祝辞では新展する生活環境学部の状況を伺い同窓会への期待と励ましを頂きました。

その後 今年定年退職され名誉教授に推挙された水島裕先生に「美味源流をたずね歩いて」と題し講話をお願いしました。食文化のツールを楽しく分りやすくお話下さり、一同学生気分を十分味わいました。



「食文化おもしろ話」

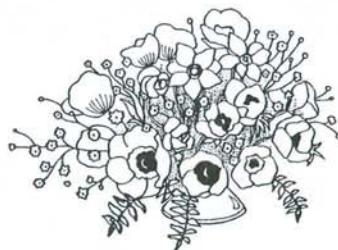
教 授 水島 裕



学生気分で講義をとの御要望で昨年の総会時に『ヨーロッパの調理文化の源はイタリアに在り』とお話ししました。現トスカーナ地方に住みついたエトルリ人の秀れた文化に植民活動で入ったギリシア人文化が融合し、建国後のローマ人に伝受されました。（前8世紀頃）そこへヴェネチア商人が高価なスパイスを注入し、グルメで

大財閥のアピキウス（1世紀）の挑戦の結果今に繋がるイタリア料理が誕生しました。この後フィレンツェ領主メディチ家とフランス国王との婚姻（16世紀）によってフランス料理に革命が起り、豊かな自国産物と耽美主義と旺盛な探求心の国民性が結実して世界に君臨するフランス料理の集大成をみたのです。パスタはトマトに出会って田舎の家庭料理があっという間に全世界に拡まった極めて稀なケースです。南米ペルー原産のトマトはコルテスによってスペインに持ち帰られましたが、宗教改革運動やなす科の植物に対する偏見の為根付かず、ナポリに観賞用植物として移入（16世紀）後貧困層によってやっと食用となりました。それが今や質量共に世界一の野菜となったのは、イタリア人の愛郷精神と地球規模の研鑽の賜物なのでしょう。同じ食材が異なる料理になるのは各民族の伝統の調理法によるものですが、それを核にして各国特有の食文化が培われ、私達の食生活を豊かに楽しくしてくれているのです。今日イタリアから発生したスローフード運動や地中海式ダイエットが奨励されているのは歴史的にも当然のことといえますね。

健康を祝して 乾杯 All s lute !



新会長挨拶

「“野のはな”の満開を祈って」

同窓会会长 長瀬 由子

嬉しいことと叶わないこと、さまざまな経験が思い出と変わり、昨日より今日、今日より明日と心は柔らかに丸みを帯びて、人生は豊かになっていきます。同じ坂を登り、同じ学窓で青春時代を思い出に持つ私達！年齢を越えた縦の結びつきが貴重な出逢いとなり、卒業生全ての人生において素晴らしいページとなる事でしょう。同窓会の連携、充実の為これまで頂戴した恩師及び諸先輩方のご尽力に感謝し、微力ではございますが金城学院家政学部ならではの集いを志して、誇り高い“野のはな”を美しく咲かせる土になればと願っております。末筆ながら皆様のご健勝を深く念じ上げてご挨拶申し上げ、ご鞭撻宜しく御願い申し上げます。

卒業生訪問

♥ 山田満知子コーチへのインタビュー ♥

今回は金城学院大学家政学部出身で現在フィギュアスケートのコーチとして世界的に有名な山田満知子コーチにお話をうかがいました。

○生い立ちから大学生時代まで

山田コーチは四人兄弟の四番目として名古屋市にお生まれになられました。当時としては先進的なお父様は女の子でも何か身になる習い事を受けるべきだと考えられ、まずクラシックバレエを習われました。7歳の時今池にスケートリンクができるのを機会にスケートを始められ、アマチュアのコーチにアドバイスを受けながらどんどん上達し、インターハイ、さらには国体でも優勝されるという素晴らしい成績をあげられました。その後、競技者としてよりも人を指導することに興味をもった山田コーチは競技生活からは引退し、フィギュアスケートのコーチをめざされることになりました。当時東京や大阪にはプロのフィギュアスケートコーチがいましたが、名古屋にはおらず、大学に通いながらアルバイトコーチとして、自分で練習を指導されるようになりました。大学当時は積極的には競技活動をされていませんでしたが、それでも1,2年は国体一般の部に出場されたそうです。

学校とアルバイトコーチさらには自分の練習という忙しい大学時代でしたが、たくさんの仲間にぎやかに過ごすのが好きな山田コーチは友人たちの楽しい思い出ばかりが残ってと嬉しそうに話されました。

○結婚後の生活のこと

結婚後はスケートのコーチは辞めるつもりでしたが、名古屋には経験豊かなプロの指導者がいなかったため、続けてほしいという周囲の要望が強く続けることとなり、妊娠、出産を機にいったん引退しましたが、子供さんに手がかかるになると再び周囲の要望により復帰されました。何十人の生徒たちを指導するうちに、何人かの才能ある生徒があらわれました。のちにオリンピック銀メダリストとなる伊藤みどりさんとの出会いが力量を世界に知らしめることとなり、それ以来コーチ業より離れることができなくなりました。ご主人も仕事にご理解があり、むしろ積極的に仕事をすることを勧められたそうです。子育てはご実家が協力してくださり、子供さんを預かったり、夕食のおかずを作ってくれたりに始まり、ついには四人兄弟の末ながら実家のご両親と二世帯同居となりました。自分も努力したけれど、こうした周りの人たちの協力をごく自然に得ることができ幸せだと感謝されました。

○60歳になって

今までやってきたことに悔いはなく幸せだと話されました。コーチとしても一人の人間としての生き方についても時代が変わったので昔のやり方を人に強制するつもりはなく、今の時代に合った方法を考えて行きたいと思っておられ、家族特に孫さんと過ごす時間が一番とおっしゃり、引退後はご主人と旅行をするのが夢だそうですが、スケートを教えることで逆に生徒からパワーをもらっており、選手が頼ってくれるうちはまだまだコーチを続けるつもりだそうです。

○取材を終えて

今回お忙しい練習時間の合間にお時間をいただき感謝しております。山田コーチの魅力的で気さくなお人柄に時間がたつのも忘れ、お話をうかがうことができましたが、山田コーチの生き方そのものが豊かな表現力の源だと感じました。これからますますのご活躍をお祈りさせていただきます。



クラスメートと楽しいひととき

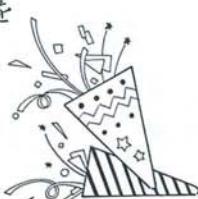
クラス会便り

三回生は、二年毎にクラス会を開催しています。回を重ねる事18回目のクラス会となりました。今回は22名の出席者を得て旧交を温めあいました。年齢的にも自由な時間を持てる人が多くなり、しばし歓談の花を咲かせる事が出来、楽しいひと時を過ごしました。

開催場所……マリオットアソシアホテル

18階 中華料理「梨杏」

日 時……2003年11月9日（日）



キャンパス便り (2005年4月からの金城学院大学)



会計報告書

(2002.10.1~2003.9.30)

お手元の会報をご確認下さい。

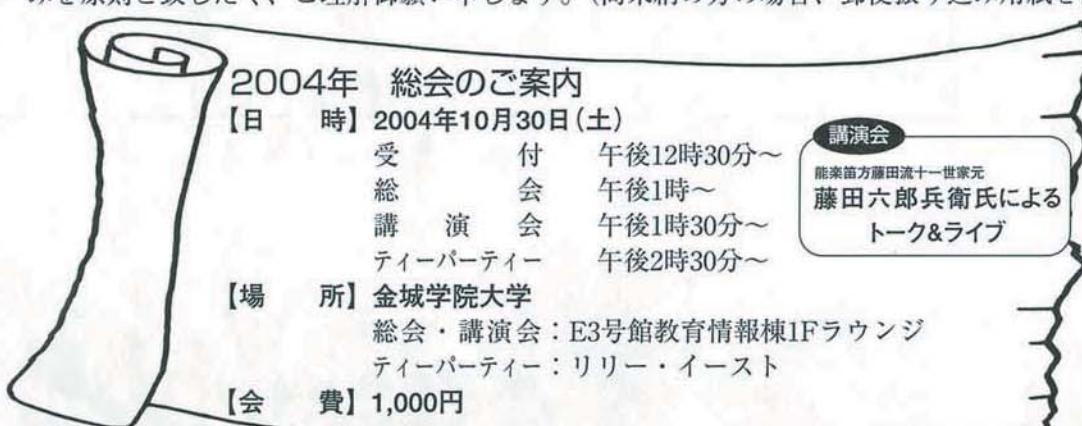
野のはな恩師顧問 (敬称略)

藤城榮一・水島裕
川崎澄雄・近藤博信

新役員

役職	氏名	回生
会長	長瀬由子	5
副会長	鬼頭桃子	5
書記	山崎千恵子	6
	中村良子	6
会計	杉浦晴子	2
	太田智予	15
会計監査	都築豊子	4
	塚田うた子	4
顧問	荒川洋子	1
	野田千恵子	2

終身会費納入について多くの同窓生よりお納め頂き、役員一同御礼申し上げます。今後関連のご案内は会員のみを原則と致したく、ご理解御願い申します。(尚未納の方の場合、郵便振り込み用紙を同封しました。)



お知らせ

今井光映元学長が「私たちの中の家政学部」を自費出版されました。
家政学部の歴史が記されています。
関心のある方は、葉書で
〒488-0001
尾張旭市旭台2-14-13
今井光映先生まで御連絡下さい。

編集後記

皆様のご協力で第3号をお届けできます事をうれしく思います。今回より各分野でご活躍の卒業生訪問並びにクラス会便りを加えました。教養教育から実践力養成へと、開学以来の改革が進められ新校舎の建設も含め、新しく変わりつつあるキャンパスで開催される総会で皆様にお会いできること心より楽しみにしております。

広報部一同